

令和3年度 第1回 八戸市地域包括支援センター運営協議会

日 時 令和3年7月14日（水）午後2時
場 所 八戸市庁別館2階 会議室B

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 令和2年度地域包括支援センター事業報告について ……………

資料1

(2) 令和3年度地域包括支援センター事業計画について ……………

資料2

3. 閉 会

令和 2 年度地域包括支援センター事業報告について

1. 地域包括支援センター運営協議会

開催日	内容	出席者
7 月 21 日	(1) 令和元年度地域包括支援センター事業報告について (2) 令和 2 年度地域包括支援センター事業計画について (3) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託事業者の承認について	7 人
2 月 9 日	(1) 令和 3 年度八戸市地域包括支援センター運営方針について (2) 令和 2 年度地域包括支援センター事業評価について (県内集計結果・全国集計結果) (3) 地域ケア会議について (4) 介護予防の推進について (5) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託事業者の承認について	6 人

2. 総合相談支援業務

(1) 地域包括支援センター（市包括）及び 12 日常生活圏域の高齢者支援センターにおける総合相談件数

【相談種別件数】

単位：件

内容 機関	一般	困難	虐待	計
市包括	853 (825)	733 (514)	343 (107)	1,929 (1,446)
高齢者支援 C	4,723 (4,179)	3,669 (3,832)	628 (527)	9,020 (8,538)
計	5,576 (5,004)	4,402 (4,346)	971 (634)	10,949 (9,984)

※()内は R1 年度実績。

【相談内容内訳】

単位：件

内容 機関	相談内容（重複あり）													計
	一人暮らし	認知症	精神疾患	介護負担増大	介護離職	介護予防	経済的問題	サービス利用	住環境問題	セルフネグレクト	成年後見制度	安否確認	その他	
市包括	560	596	539	123	8	19	234	652	234	16	137	69	450	3,637
高齢者支援 C	2,746	2,460	1,019	1,157	25	88	511	4,794	627	127	150	141	3,048	16,893
計	3,306	3,056	1,558	1,280	33	107	745	5,446	861	143	287	210	3,498	20,530

【相談者内訳】

単位：件

相談者 機関	本人	家族	民生委員	ケアマネジャー	医療機関	行政機関	高齢者支援C	その他	計
市包括	423	570	10	100	49	121	533	231	2,037
高齢者支援C	1,282	2,952	416	993	1,019	501	—	986	8,149
計	1,705	3,522	426	1,093	1,068	622	533	1,217	10,186

(2) 困難及び虐待対応回数

()内はR1年度実績、単位：回

	訪問	ケア会議	
		多職種会議※	課内会議
市包括	52 (34)	173 (269)	1,238 (971)
高齢者支援C	1,996 (2,120)		
	2,048 (2,154)	173 (269)	1,238 (971)

※あらかじめ日時を設定し、多職種で行ったもの

(3) 高齢者見守りネットワーク事業

見守りの必要な高齢者の変化に早めに気づき必要な支援を行うために、地域の活動を支える町内会、事業所などの関係機関によるネットワークを構築する。

①見守りネットワーク活動の普及・啓発

民生委員定例会や町内会総会出席時に、見守り活動の協力依頼を行っている(随時)。

②高齢者見守りネットワーク連絡会

身近な町内単位で無理なく何気なく見守りや声掛けをして、緊急課題の早期発見や安否確認を行い、必要時に早期対応するシステムを作る。

- ・設置町内：38町内

- ・活動内容：緊急連絡網作成、町内周知、ネットワーク新聞の回覧等

3. 権利擁護事業

(1) 成年後見制度

【相談件数】

	2年度	元年度
市包括	137件	108件
高齢者支援C	150件	64件
計	287件	172件

【市長申立て件数】

2年度	元年度
12件	10件

(2) 八戸市高齢者虐待の取組状況

【養護者による虐待の相談件数】

	2年度	元年度
相談件数（新規）	67件	52件
虐待件数※疑い含む	46件	35件
虐待有りと判断	39件	19件

【養護者による虐待に対する支援状況】

	2年度	元年度
生活支援ハウス入所	0件	2件
福祉施設入所	2件	1件
入院	6件	4件
その他分離	6件	3件
見守り・助言	33件	25件
計	47件	35件

【八戸市における養護者による高齢者虐待の特徴】（※虐待有りと判断した件数の内訳）

		2年度		元年度	
虐待有りの件数 （実人数）		39件（40人）		19件	
虐待の種別 ※重複あり		身体的 27件 心理的 26件 経済的 3件 ネグレクト 1件		身体的 18件 心理的 7件	
被虐待者	性別	女性 31人 男性 9人		女性 25人 男性 4人	
	年齢	65～69歳 7人 70～74歳 6人 75～79歳 12人 80～84歳 6人 85歳以上 9人		65～69歳 2人 70～74歳 6人 75～79歳 8人 80～84歳 9人 85歳以上 4人	
	介護度	未申請 18人 申請中 2人 要支援 2人 要介護 18人		未申請 12人 申請中 2人 要支援 2人 要介護 13人	
	要因 ※上位3件	要介護 22件 認知症 15件 共依存 6件		認知症 13件 要介護 9件 共依存 8件	
養護者	続柄 ※上位3件	息子 13人 夫 13人 娘 7人		息子 9人 娘 7人 夫 5人	
	養護者が抱える問題 ※上位3件	経済的問題 21件 介護負担 19件 性格の偏り 14件		介護負担 10件 病気の無理解 10件 精神疾患 8件	

(3) 八戸市高齢者・障がい者虐待対策ケース会議

当会議では高齢者及び障がい者に対する虐待の早期発見・早期対応・防止を目的として、支援策の検討や関係機関の連携システムの構築を行うために、司法や医療、福祉等の構成員から意見を聴取した。

(4) 啓発活動

○令和2年度八戸市高齢者虐待防止研修会（オンライン研修）開催

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修動画をオンデマンド配信するオンライン形式で開催

配信期間	令和3年2月15日～3月15日
開催場所	—
内 容	講演① 高齢者虐待の現状と基礎理解 講演② 施設における虐待防止体制づくり 講 師 公立大学法人 青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 工藤 英明 氏
受講者	828人

○高齢者虐待防止パンフレットの配布

○成年後見制度に関するパンフレットの配布

(5) 市民後見推進事業

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な市民が、成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、市民後見人の養成及び市民後見人候補登録者が適切に活動できるよう支援し、権利擁護の推進を図る。

①八戸市市民後見推進協議会の開催

- ・委員 弁護士、司法書士、社会福祉士、学識経験者、社会福祉協議会
- ・オブザーバー 青森家庭裁判所、八戸市成年後見センター

回数	開催日	内容
第1回	11月5日	【開催中止】【書面決議】 (1) 市民後見推進事業について (2) 成年後見制度の利用促進について
第2回	12月25日 (11/19延期)	【Web会議】 (1) 市民後見人の受任調整会議に係る体制の見直しについて ①通常時の受任調整会議について ②新型コロナウイルス感染症が収束するまでの受任調整会議 (経過措置) について (2) 令和2年度の市民後見人の名簿登録継続要件について

※令和2年度末時点で、4人が市民後見人として活動

②八戸市市民後見人フォローアップ研修会（連携中枢都市圏事業）

- ・委託先 八戸市成年後見センター（八戸市社会福祉協議会）
- ・対象者 八戸圏域市民後見人候補者名簿登録者 27 人

開催日	内容	出席者
9月30日	【報告】市民後見人活動報告	19人
3月8日～ 3月31日	【講義】オンライン配信 社会福祉士の後見事例～被後見人を取り巻く環境への対応～	19人
3月26日～ 4月16日	【講義】オンライン配信 判断能力が低下した方の意思決定支援	19人
3月26日配付	【自己学習】相談受付シート及び課題分析・支援方針検討ワークシートの作成	—

※第2回研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により11月9日（月）の開催を12月25日（金）に延期したものの、同様に新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができず、オンライン研修に切替。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 包括的支援事業研修会

介護支援専門員等が、地域包括ケアを推進するために必要な知識・技術を習得することにより、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援する。

開催日	内容	出席者
9月30日	【講義】 テーマ 多職種連携を活かした新型コロナ対策 ～八戸型対策連携参加・活用のための基本～ 講師 はちのへファミリークリニック 院長 小倉 和也 氏	70人
12月17日	【講義】 テーマ1 認知症初期集中支援チームの役割と活用方法について 講師 八戸市地域包括支援センター 保健師 永峯 えりか 氏 テーマ2 自立支援と重度化防止にむけたケアマネジメント 講師 八戸市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 中坂 和裕 氏	44人
1月20日	【講義】 テーマ 高齢者のお薬管理の注意点と薬局との連携について 講師 八戸薬剤師会理事 なの花東北五戸調剤薬局 前田 法晃 氏	38人

(2) 地域ケア会議

地域包括ケアシステムの実現に向け、高齢者の個別課題について、医療・介護の多職種や住民等の地域の関係者間で検討を重ねることにより、地域の共通課題を関係者で共有し解決を図るとともに、関係者間の調整、ネットワーク化、新たな資源開発や政策形成を図る。

- ①地域ケア会議個別会議 47回（各高齢者支援センターにおいて開催）
- ②地域ケア会議圏域会議 17回（各高齢者支援センターにおいて開催）
- ③地域ケア会議推進会議 2回（市包括において開催）

(3) 介護支援専門員に対する個別支援

- 介護支援専門員が担当している困難ケースの相談に対する支援
 - ・令和2年度相談件数：275件（うち新規130件、継続145件）
 - ・令和元年度相談件数：281件（うち新規148件、継続133件）

○相談件数の介護度別内訳 単位：件

	認定なし	事業対象者	要支援		要介護					計
			1	2	1	2	3	4	5	
市包括	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
高齢者支援C	16	1	15	19	90	63	39	15	16	274
計	16	1	15	19	90	64	39	15	16	275

○相談内容（重複あり） 単位：件

	独居	認知	精神	介護負担	経済	介護サービス	住環境	セルフ	後見	その他	計
市包括	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	4
高齢者支援C	68	131	47	72	59	157	51	9	10	73	677
計	69	131	47	72	59	158	52	9	11	73	681

○対応（重複あり） 単位：件

	助言	訪問	ケース会議	計
市包括	2	0	0	2
高齢者支援C	355	160	127	642
計	357	160	127	644

5. 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

(1) 令和2年度 月別要支援認定者数 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	1,109	1,111	1,120	1,120	1,125	1,128	1,142	1,145	1,148	1,153	1,158	1,161	13,620
要支援1	547	552	556	571	574	581	578	584	584	587	584	578	6,876
要支援2	832	835	838	845	844	841	839	848	852	847	851	852	10,124
計	2,488	2,498	2,514	2,536	2,543	2,550	2,559	2,577	2,584	2,587	2,593	2,591	30,620

※事業対象者：介護予防・日常生活支援総合事業の対象者

(2) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント 給付管理数（年間件数）

	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
委託事業所	14,587件	12,995件	13,250件	11,772件	10,251件
高齢者支援C	4,428件	4,625件	4,808件	4,340件	4,370件
計	19,015件	17,620件	18,058件	16,112件	14,621件

※指定介護予防支援：介護予防給付サービスを利用している者を対象としたケアマネジメント

※介護予防ケアマネジメント：介護予防・日常生活支援総合事業のサービスのみを利用している者を対象としたケアマネジメント

6. 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 八戸市医療・介護関係者多職種連携研修会

医療・介護関係者の多職種を対象に、相互理解や情報の共有等による関係の構築と連携推進を図ることを目的として研修会を開催。

開催日	令和3年1月27日
開催場所	八戸市庁別館2階会議室B・C
内容	<p>【講演】</p> <p>テーマ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指して～終末期のケアの実際から～</p> <p>講師 はちのへファミリークリニック 院長 小倉 和也 氏 生協居宅介護支援事業所 管理者 瀬川 祐介 氏 ビリーブ訪問看護八戸中央 管理者 金子 仁美 氏</p> <p>※コロナウイルス感染拡大防止対策のため、会場受講とリモート受講の併設で実施</p>
参加者	88人（会場受講16人、リモート受講72人）

(2) 八戸市医療と介護の多職種連携意見交換会

医療と介護のより円滑な連携を支援するために、医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、訪問看護ステーション看護師、介護福祉士、管理栄養士、介護支援専門員の各職能団体、病院医療連携担当者、大学准教授、高齢者支援センター等と意見交換を実施。

開催日	内容	出席者
10月7日	(1) 介護予防センターについて (2) 介護予防センター内見学	41人
1月13日	(1) 在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.3 (2) 第8期高齢者福祉計画 (3) コロナ禍における連携 (4) 職能団体からのお知らせ	30人

7. 認知症施策の推進

(1) 認知症地域支援推進員の配置

令和2年度は、地域包括支援センター（市包括）に認知症地域支援推進員4人、高齢者支援センターに19人を配置し、計23人体制で地域の支援機関同士の連携支援や認知症の人等への相談支援を実施した。

(2) 八戸市認知症ケアパス改訂

令和2年度は、介護予防センターが開設したことに伴い、認知症の支援体制を見直したことから、認知症ケアパスの内容を改訂した。

(3) 認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援チームを地域包括支援センター内に設置し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に対し、訪問や観察・評価、家族支援等の初期支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを実施した。

① 普及啓発

・「チーム設置」についての周知

市ホームページ、令和2年度「わが家の健康カレンダー」へ掲載

リーフレットをこれまでの医療機関や薬局等に加え、新たに介護保険課、ショッピングセンター市政情報コーナーに設置。

② 認知症初期集中支援チームの活動実績 6件

③ 認知症初期集中支援チーム員会議の開催

専門医を含めたチーム員が集まり、個別の支援方針の立案や確認、見直しを検討する会議を偶数月に開催。

開催日	内容	出席者
4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	—
6月24日	認知症初期集中支援のケース検討（新規0件、継続3件）	13人
8月19日	認知症初期集中支援のケース検討（新規1件、継続0件）	13人
10月14日	認知症初期集中支援のケース検討（新規0件、継続1件）	12人
12月16日	認知症初期集中支援のケース検討（新規1件、継続1件）	12人
2月16日	認知症初期集中支援のケース検討（新規1件、継続1件）	11人

④ 八戸市認知症総合支援検討会議の開催

認知症の人等ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療及び介護等が有機的に連携した支援体制の構築を図り、認知症の人等にやさしい地域づくりを推進するため、各認知症施策の会議を統合して令和元年度より開催。

開催日	内容	出席者
12月16日	(1) 令和元年度 八戸市初期集中支援チーム活動実績 (2) 認知症ケアパスの改訂（案） (3) 市の認知症施策の概要、介護予防センターの事業	20人

(4) 高齢者福祉合同研修会（連携中枢都市圏事業）

八戸市及び近隣 7 町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村及びおいらせ町）が合同で、地域における認知症や虐待等に関連したテーマで研修を開催。

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止。

8. 生活支援サービスの体制整備

(1) 八戸市生活支援体制整備推進協議会

平成 29 年度より生活支援体制整備推進協議会を設置し、生活支援体制整備事業の推進に関する検討を実施した。

開催日	内容	出席者
11 月 30 日	(1)生活支援体制整備事業について (2)高齢者支援を考えるワークショップ等について (3)生活支援コーディネーターの変更について	5 人
2 月 1 日	(1)生活支援体制整備事業について (2)白山台地区「高齢者集いの場」開催報告について (3)地域における高齢者支援について	6 人

(2) 高齢者支援を考えるワークショップ等

高齢者人口の増加に伴い、民生委員及び地区社会福祉協議会だけでは、地域に住む高齢者の生活を見守ることが困難となっていることから、地域全体で連携しながら高齢者を見守るとともに、高齢者が地域の中で生きがいや楽しみを持って暮らしていけるよう支援する体制を構築する。

①白山台地区

開催日	内容	参加者
10 月 24 日	第 1 回ワークショップ（高齢者支援についてのグループワーク）	49 人
10 月 31 日	第 2 回ワークショップ（集いの場開催に向けたグループワーク）	39 人
12 月 5 日	高齢者集いの場（認知症・介護予防、ニュースポーツ）	33 人

②松園町団地（田面木地区）

開催日	内容	参加者
10 月 9 日	情報交換（高齢者支援についてのグループワーク）	7 人
11 月 4 日	ワークショップ（集いの場開催に向けたグループワーク）	11 人
11 月 25 日	高齢者集いの場（認知症・介護予防、ニュースポーツ）	16 人

9. 介護予防事業

(1) 通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業の利用状況

単位：人

		2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
通所型	運動機能向上	95	137	205	209	230
	口腔機能向上	2	3	3	12	24
	認知症予防	9	7	11	36	37
訪問型	日常生活支援	3	3	—	—	—
	低栄養改善	3	2	—	—	—
計		112	152	219	257	291

※通所型及び訪問型介護予防事業は、平成28年10月より介護予防・日常生活支援総合事業の通所型及び訪問型サービスC（短期集中予防サービス）へ移行。

※令和2年度の運動機能向上事業は4か所の事業所で実施。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のとおり事業を休止

運動機能向上事業 4～6月、認知症予防事業 4～6月

※低栄養改善事業は、令和2年度から介護予防センターで実施。

(2) 介護予防DVDの作成及び配布

新型コロナウイルスの影響で、高齢者が介護予防教室や高齢者ほっとサロン等の介護予防事業への参加や外出そのものを自粛することにより、高齢者の心身機能の低下が懸念されたため、その対策として介護予防に関するDVDを1,000枚作成して配布した。

①収録内容

介護予防の必要性、運動時の注意点、ストレッチ、筋力トレーニング、健口体操（唾液腺マッサージ、嚥下体操）、レクリエーション、散歩、自宅でできる有酸素運動、介護予防センターの紹介

②配布先

高齢者支援センター、高齢者ほっとサロン、老人クラブ、民生委員などの他に、一般の希望者に無料で配布。また、YouTubeでも動画を配信。

※令和元年度まで地域包括支援センターで実施していた地域回想法による介護予防推進事業は、令和2年度から介護予防センターで実施。

10. 任意事業（家族介護支援事業等）

(1) あんしんカード事業（連携中枢都市圏事業）

八戸市内に住むおおむね65歳以上で、認知症等により徘徊して自宅に帰ることができなくなるおそれがある方の情報を事前に八戸市に登録し、八戸警察署へ提供。登録者が徘徊して保護された場合、登録情報から個人を特定して、すみやかに家族等に連絡する。

登録者には登録番号を記載したカードを交付。平成24年度からは八戸圏域定住自立圏、平成29年度からは八戸圏域連携中枢都市圏の事業として、八戸市及び近隣7町村で実施している。

○八戸市登録者数：330人（令和3年3月31日現在）

※令和元年度まで地域包括支援センターで実施していたキャラバン・メイトの支援、認知症サポーター養成講座、及び認知症フォーラムは、令和2年度から介護予防センターで実施。

11. その他

(1) 地域包括支援センター職員打合せ会

地域包括支援センター（市包括）と12日常生活圏域の高齢者支援センター職員とが、情報交換、意見交換及び課題の検討を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となり資料を配布した。

開催日	内容	出席者
4月20日 (中止)	(1)重点地区消費啓発活動について (2)職員紹介 (3)令和2年度地域包括支援センター運営方針及び元年度実績について (4)委託型地域包括支援センターの事業評価について (5)介護予防教室について (6)精神保健福祉相談員の活用 (7)実績入力について (8)生活支援ハウス入所について (9)介護予防センターの進捗状況について (10)新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う事業の自粛について (11)業務手続きについて 成年後見、虐待、生活支援体制整備等	—

(2) 高齢者支援センター管理者打合せ会

高齢者支援センター業務の効率的な推進や資質向上に向けた取組等について、地域包括支援センター（市包括）と12日常生活圏域の高齢者支援センター管理者とが、情報交換、意見交換及び課題の検討を行う。

開催日	内容	出席者
10月6日	(1)重点地区消費啓発活動について (2)令和2年度上半期各センターの業務進捗状況報告 (3)令和2年度下半期市包括事業計画・方針について (4)災害時の対応について (5)令和元年度 苦情相談受付について (6)地域ケア会議（圏域会議）について (7)介護予防センターについて ①介護予防センターの事業概要について ②令和2年度8～9月 介護予防センター事業利用状況 ③訪問型サービスC実施結果 ④介護予防センターの施設利用について ⑤地域回想法事業開催の意向調査依頼について	26人
3月18日	(1)各高齢者支援センター事業実績報告 (2)令和3年度高齢者支援センター委託事業について (3)令和3年度高齢者虐待対応について (4)業務実績集計の様式変更について (5)令和3年度包括的支援事業研修会について (6)令和3年度認知症初期集中支援チームについて (7)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の活用について (8)各種申請書の押印レスについて	19人

(3) 地域包括支援センター運営事業にかかる代表者会議

高齢者支援センターの運営状況について、地域包括支援センター（市包括）と12日常生活圏域の高齢者支援センター運営法人の代表者とが、意見交換等を行う。

開催日	内容	出席者
7月28日	(1) 令和元年度高齢者支援センター実績について (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う委託事業内容の対応について (3) 令和2年度介護予防教室、見守りネットワークについて (4) 高齢者のみ世帯の名簿リストについて (5) 介護予防センターについて	19人
2月3日	(1) 令和3年度のコロナ禍における高齢者支援センター委託事業について (2) 令和2年度地域包括支援センターの事業評価について (3) 介護予防の推進について (4) 職員の長期に渡る欠員（欠勤含む）による委託料の減額について	22人

12. 令和2年度 高齢者保健福祉サービスに関する啓発活動

	開催日時 場 所	テーマ	主催・参加対象者	人数
1	6月24日（水） 15:30～16:00 八戸市庁	成年後見制度・高齢者支援センターについて	八戸市生活福祉課職員	40
2	1月20日（月） 10:30～12:00 八戸市立高等看護学院	高齢者の自立した生活を支援する 地域保健活動の実際	八戸市立高等看護学院 1年生	36
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
計				76

13. 令和2年度 地域包括支援センター推進事業実績

高齢者支援センター	一般介護予防事業																					見守りネットワーク	ケアマネ事例学習会(回)	民生委員定例会等(回)																			
	介護予防把握事業						介護予防普及啓発事業														地域介護予防活動																						
	実態把握						介護予防教室等														ボランティア育成・活用(回)																						
	チェックリスト実施			未実施			(実態把握後の普及啓発支援人数) (上下段階別) ：①認知機能低下 ②日常生活機能低下 ③その他 (※下記：家族介護受援者再掲)	運動	栄養	口腔	認知	その他	合計(人)																														
	①	②	③	回数	人数	回数							人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数				回数	人数	回数	人数															
	一般介護予防(件)	介護予防・生活支援サービス(件)	活動以外の訪問介護(不在は除く)																																								
実	延	実	延																			実	延																				
寿楽荘	189	189	109																			109	2	2					300	12	227	2	41	1	15	3	58	0	0	18	341	61	280
はくじゆ	163	158	135				126	14	14	312	6	92										1	9	1					19	4	86	0	0	12	206	38	168	15	46	2	15	1	2
ちょうけいの森	99	99	134	134	73	73	306	4	26	0	0	0	0	1	13	2	15	7	54	5	49	4	4	0	0	1	22																
みやぎ	153	153	93	93	71	75	317	7	81	2	21	2	14	5	53	2	26	18	195	55	140	16	24	1	7	0	20																
アクティブ24	70	70	214	219	26	27	310	6	46	2	17	2	18	4	36	0	0	14	117	1	116	11	15	0	0	1	5																
医師会	1	1	1	2	311	321	313	2	9	0	0	0	0	1	0	2	13	5	22	4	18	0	0	0	0	1	19																
修光園	17	17	34	34	191	191	242	7	68	1	15	2	30	1	6	4	53	15	172	39	133	17	23	0	0	0	23																
福寿草	170	190	181	226	18	18	369	9	109	0	0	0	0	2	37	0	0	11	146	26	120	12	27	8	48	0	10																
瑞光園	169	179	93	128	54	68	316	12	175	2	24	2	26	6	88	0	0	22	313	23	290	22	128	18	120	1	29																
えがお	229	229	103	103	14	14	346	7	157	2	43	1	4	2	20	1	24	13	248	44	204	21	46	10	71	0	10																
やくら	57	57	108	108	145	145	310	11	111	2	10	2	8	6	51	0	0	21	180	24	156	16	80	4	40	1	33																
ゆとり	175	182	27	32	98	98	300	5	51	1	14	1	9	2	24	0	0	9	98	19	79	8	10	2	32	1	9																
計	1492	1524	1232	1314	1017	1046	3741	88	1152	15	194	14	143	37	472	11	131	165	2092	339	1753	164	495	48	366	8	203																

※介護予防教室のその他には、認知症の人の家族向けの介護教室の開催を含む。

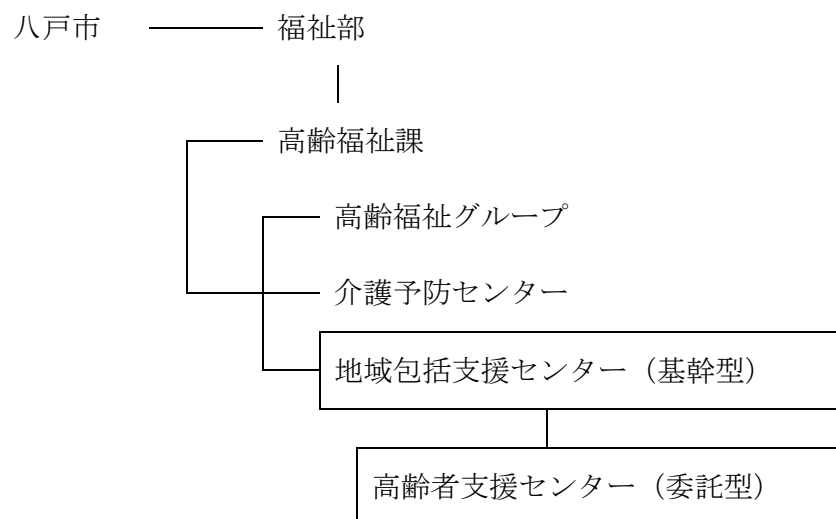
令和 3 年度地域包括支援センター事業計画について

1. 令和 3 年度八戸市地域包括支援センター体制

(1) 設置概要

①設置：八戸市 基幹型 1 か所、委託型 12 か所

②配置：福祉部 高齢福祉課



③相談室：市庁別館 1 階 地域包括支援センター分室

④緊急体制：基幹型地域包括支援センター（高齢福祉課内）と委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）12 か所が、緊急初動体制に基づき 24 時間対応する。

(2) 職員配置状況（令和 3 年 7 月 1 日現在）

職 種	基幹型（市）		委託型	合 計
	正職員	会計年度 任用職員	高齢者支援センター	
保健師（所長含む）	3	—	4	7
主任介護支援専門員	1	—	14	15
社会福祉士	3	1	13	17
看護師	—	—	9	9
介護支援専門員	1	1	10	12
社会福祉主事	—	1		1
事務	2	1	8	11
合 計	10	4	58	72

2. 令和3年度八戸市地域包括支援センター

令和3年7月1日現在

八戸市地域包括支援センター		総括	原 栄子	連絡先：TEL43-2111 (内線：5153～5158)
チーム	八戸市地域包括支援センター (高齢福祉課内)	高齢者支援センター (委託型地域包括支援センター)		担当地区
A	◎櫻庭 絃子 (保)	福寿草 38-7612 川井 純子(社) 佐々木 誠子(主介) 田越 和加子(主介) 堀岡 利巳(社)		大館、東
	鮫名 葵 (社)	佐々木 廣平(看)		
	酒井 明美 (主介)	ハピネスやくら 27-8990 小泉 明美(主介) 安保 愛香(保) 工藤 直美(社)		田面木、館、豊崎
		アクティブ24 73-3337 堀内 博子(主介) 吉田 由美子(看) 上端 美紅(社)		小中野、江陽
		八戸市医師会 38-3820 立崎 公章(社) 中里 和江(看) 中嶋 みさき(社)		柏崎、吹上
B	◎山口 誠 (社)	えがお 38-1328 渡部 哲也(社) 平井 美和子(看) 吉島 智子(主介) 高田 恒(主介)		白銀、湊
	藤田 千愛美 (保)	寿楽荘 52-8000 尾坪 美恵子(主介) 清水 恵子(保) 堀内 蒔(社)		市川、根岸
		ちょうじゃの森 46-0817 花本 隆(主介) 中野 直子(看) 小林 紗知子(社)		長者、白山台
		修光園 38-6234 高奥 佳代子(社) 日戸 雄一(主介) 林崎 絵里香(看)		是川、中居林
C	◎松井 純 (介)	はくじゅ 20-4400 久保沢 光浩(社) 佐々木 ひとみ(主介) 小山田 ひとみ(看) 中村 真季子(保)		下長、上長
	柏崎 雄介 (社)	瑞光園 25-0103 笹川 佳子(主介) 内澤 菜美輝(社) 原田 明美(看)		白銀南、鮫、南浜
		ゆとり 20-9944 下平 敦子(主介) 出河 洋子(看)		南郷
		みやぎ 71-2271 荻ノ沢 哲也(社福) 桐田 あゆ(保) 堀 香(主介) 手倉森 尚子(主介)		三八城、根城
全体事務	沼口 幸広、石木田 誠		窓口専門職員	唯野 聡子、田中 明香、夏川戸 淳子
応援体制	AはBに依頼 BはCに依頼 CはAに依頼			

3. 令和3年度 八戸市地域包括支援センター事業計画

(1) 目的

介護保険法第9条に掲げる者(以下「被保険者」という。)が要介護状態等になることを防止するとともに、要介護状態等になった場合においても、可能な限り地域において自立した生活を営むことができるよう、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

(2) 目標

- ①高齢者が安心安全に暮らせる環境づくりに努める
- ②介護予防の普及啓発を図る
- ③認知症支援を推進する
- ④高齢者の権利擁護に努める
- ⑤在宅医療・介護連携の推進を図る

(3) 基本機能

- ①共通的支援基盤構築
- ②総合相談支援・権利擁護
- ③包括的・継続的マネジメント
- ④介護予防ケアマネジメント
- ⑤在宅医療・介護連携の推進
- ⑥認知症施策の推進
- ⑦生活支援サービスの体制整備
- ⑧介護予防事業の推進

(4) 事業実施計画

① 共通的支援基盤事業

- ア 地域包括支援センター運営協議会開催……………年2回
必要に応じて臨時開催する。
- イ 地域住民に対する広報

② 包括的支援事業

ア 総合相談支援業務

- 高齢者、家族等からの相談対応、支援
- 高齢者町内見守りネットワーク連絡会への支援
- 見守りネットワークの普及・啓発

イ 権利擁護業務

- 虐待への対応
- 高齢者あんしん相談窓口での相談
- 高齢者・障がい者虐待対策ケース会議開催
- 高齢者虐待防止出前講座の実施
- 高齢者虐待防止研修会開催……………年1回
- 成年後見制度の活用
- 市民後見推進事業
 - ・市民後見推進協議会の開催
 - ・市民後見人フォローアップ研修の開催
- 成年後見センター事業(八戸市社会福祉協議会へ委託)

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント

- 包括的支援事業研修会開催……………年3回
- 各高齢者支援センターでの地域ケア会議個別会議等開催への支援
地域ケア会議個別会議……………年6回
地域ケア会議圏域会議……………年2回
- 地域ケア会議推進会議開催……………年2回
- 地域における介護支援専門員のネットワーク構築及び介護支援専門員への個別支援

エ 在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の多職種連携意見交換会開催……………年3回
- 在宅医療・介護関係者研修会開催……………年1回

オ 認知症施策の推進

- 認知症地域支援推進員の配置 市包括支援センター……………5名
高齢者支援センター……………各1～3名(計26名)
- 八戸市認知症総合支援検討会議……………1回
- 高齢者福祉合同研修会開催……………年1回

カ 生活支援サービスの体制整備

- 生活支援体制整備推進協議会開催(附属機関)……………年4回

③ 介護予防・日常生活支援総合事業

ア 介護予防・生活支援サービス

- 通所型サービスC(短期集中予防サービス)
- 訪問型サービスA(旧介護予防訪問介護に係る基準を緩和した基準による訪問型サービス)

イ 一般介護予防事業

- 介護予防把握事業
- 介護予防普及啓発事業
- 地域介護予防活動支援事業

ウ 介護予防ケアマネジメント

要介護のおそれのある高齢者(基本チェックリスト該当者)で、介護予防・日常生活支援総合事業のみを利用している者を対象としたケアマネジメント

④ 家族介護支援事業(認知症高齢者見守り事業)

あんしんカード事業

⑤ 指定介護予防支援事業

要支援認定者で、介護予防給付サービスを利用している者を対象としたケアマネジメント

⑥ その他

- 地域包括支援センター関係職員打合せ会……………年3回
- 高齢者支援センター管理者打合せ会……………年1回
- 地域包括支援センター運営事業にかかる代表者会議……………年2回

【備考】介護予防センターへの移管事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

- ① 介護予防・生活支援サービス
 - 訪問型サービスC(短期集中予防サービス)

② 一般介護予防事業

- 介護予防普及啓発事業の一部
- 地域介護予防活動支援事業（地域回想法の実施）
- 地域リハビリテーション活動支援事業

(2) 家族介護支援事業（認知症高齢者見守り事業）

- 認知症サポーター養成講座の開催
- 認知症サポーターフォローアップ研修会の開催
- キャラバン・メイト養成講座の開催
- キャラバン・メイトフォローアップ研修会の開催
- 認知症フォーラムの開催（「認知症の人と家族の会」へ委託）

八戸市地域包括支援センターと高齢者支援センターの業務内容及び役割分担

事業名		共通	八戸市地域包括支援センター	高齢者支援センター
包括的支援事業	総合相談支援事業 (法第115条の45第2項第1号)	○見守りネットワークの普及・啓発 ○高齢者、家族等からの相談・対応	○高齢者、家族等からの相談・対応を行う 高齢者支援センターの後方支援	○高齢者町内見守りネットワーク連絡会 への支援 ○高齢者、家族等の支援 ○高齢者の実態把握 ○高齢者の安否確認にかかる対応、支援
	権利擁護事業 (法第115条の45第2項第2号等)	○権利擁護に関する相談・対応 ○虐待防止や成年後見制度等に関する 普及啓発	○虐待・困難事例を支援する高齢者支援セ ンターの後方支援 ○高齢者・障がい者虐待対策ケース会議の 開催 ○虐待判定会議・措置の実施 ○高齢者虐待防止研修会の開催 ○成年後見制度の市長申立て等の実施 ○市民後見推進事業の実施（一部委託） ○成年後見センター事業（委託）	○高齢者虐待（疑いを含む）の事実確認、 必要な支援の実施（訪問・ケース会議の 実施、措置実施の要求等） ○困難事例への必要な支援の実施（訪問・ ケース会議の実施等） ○成年後見制度に関する説明や関係機関 の紹介、市長申立てにつなげる等の支援
	包括的・継続的 ケアマネジメント支援事業 (法第115条の45第2項第3号)		○困難ケース対応等介護支援専門員への 支援を行う高齢者支援センターの後方 支援 ○包括的支援事業研修会の開催	○困難ケース対応等介護支援専門員への 支援 ○地域ケアマネジメント事例検討会開催 時支援
包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業 (法第115条の45第2項第4号) (ア)地域の医療介護の資源の把握 (イ)在宅医療・介護連携の課題の 抽出と対応策の検討 (ロ)切れ目のない在宅医療と介 護の提供体制の構築推進 (ハ)医療・介護関係者の情報共有 の支援 (ニ)在宅医療・介護連携に関する 相談支援 (ホ)医療・介護関係者の研修 (ヘ)地域住民への普及啓発 (ヘ)在宅医療・介護連携に関する 関係市区町村の連携		(ア)はちのへ医療・介護連携マップの作成 (イ)医療と介護の多職種連携意見交換会の 年3回の開催 (ロ)ICT ツールを活用した主治医・副主治医 制の構築 (ハ)ICT ツールを活用した連携の推進 (ニ)在宅療養相談窓口の設置運営 (ヘ)医療と介護の多職種連携研修会の開催 (ヘ)パンフレットや HP による在宅医療・介 護の普及啓発 (ヘ)八戸圏域8市町村共通の入退院調整ルー ルの運用	(イ)医療と介護の多職種連携意見交換会へ の参加 (ロ)ICT ツールを活用した連携の推進 (ロ)医療と介護の多職種連携研修会への参加 (ロ)入退院調整ルールによる対応

事業名		共通	八戸市地域包括支援センター	高齢者支援センター
包括的支援事業	生活支援体制整備事業 (法第115条の45第2項第5号)		<ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーター（第1層）の配置 ○生活支援体制整備推進協議会（第1層協議体）の開催 ○ワークショップ（第2層協議体）の企画運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーター（第2層）の配置 ○ワークショップ（第2層協議体）の開催支援
	認知症総合支援事業 (法第115条の45第2項第6号)	○認知症ケアパスの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症地域支援推進員の配置・活動支援 ○認知症ケアパスの作成・活用促進 ○高齢者福祉合同研修会の開催 ○認知症初期集中支援事業の実施（チーム員会議・検討会の開催等） ○囑託医への相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症地域支援推進員の活動 ○認知症ケアパスの活用 ○高齢者福祉合同研修会への参加 ○認知症初期集中支援チームとしての対応・活動、チーム員会議等への参加
	地域ケア会議の実施 (法第115条の48)		<ul style="list-style-type: none"> ○地域ケア会議個別会議、地域ケア会議圏域会議の開催支援 ○地域ケア会議推進会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ケア会議個別会議の開催 ○地域ケア会議圏域会議の開催
任意事業	家族介護支援事業 (法第115条の45第3項第2号)	○あんしんカード事業の啓発	○あんしんカード事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座の普及・啓発 ○キャラバン・メイト及び認知症サポーターとの連携
総合事業	第1号介護予防支援事業 (法第115条の45第1項第1号ニ)	○介護予防・生活支援サービス利用者のケアマネジメント		○訪問型サービスA・C及び通所型サービスC事業対象者のプラン作成
	一般介護予防事業 (法第115条の45第1項第2号)	○介護予防教室等の普及啓発		○介護予防教室の開催
	指定介護予防支援事業 (法第8条の2第16項)	○要支援1・2で介護予防給付サービスを利用している方のケアマネジメント		

5. 各高齢者支援センターの重点活動及び目標

担当圏域 センター名	重点活動及び目標
市川・根岸地区 寿楽荘	<ul style="list-style-type: none"> ○困難・虐待ケースの対応力向上を目指し、各種研修へ積極的に参加し知識や技術の習得に努めます ○地域ケア会議圏域会議の開催目標回数を達成し、抽出された地域課題について検討する機会を作ります。
下長・上長地区 はくじゅ	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者見守りネットワーク開催に向け、下長地区では、地域ケア会議を活用し、上長地区では社会福祉協議会会議での説明を行い、町内関係者へネットワーク会議の必要性について理解を深める。 ○地域ケア会議個別会議、地域ケア会議圏域会議を円滑かつ有効に開催できるよう地域関係者、関係機関、介護支援専門員と連携する。また、開催後の情報交換を行い継続的な取り組みに努める。 ○認知症高齢者支援については、医療機関や認知症初期集中支援チームと連携し、必要な医療、サービスにつながるよう支援する。 ○認知症サポーター養成講座の開催運営をスムーズに行い、地域ボランティアの育成、支えあい強化に協力する。 ○高齢者「集いの場」について、地域ケア会議を活用し地域関係者の理解を深める。
田面木・館・豊崎地区 ハピネスやくら	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ケア会議（個別会議）を活用した他職種による事例検討を行います。 ○介護予防教室『いきいきサロン』の開催を継続します。 ○町内会や老人クラブなど、多様な『集いの場』開催ができるよう、地域ぐるみで支援する体制作りを目指します。
長者・白山台地区 ちょうじゃの森	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の高齢者の実態把握に努め、関係機関との連携を強化していく。 ○困難・虐待ケースなどについては、多職種連携を図りながら素早い対応を心掛ける。
三八城・根城地区 みやぎ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民と地域施設・企業との関係性を構築し、地域全体で高齢者の見守りや支援が行える体制を目指す。 ○ケア会議や研修会、地域の会合・活動等に参加し、多職種機関、地域住民との交流を深め、地域のニーズ把握に努めながら地域包括支援ネットワークの構築を目指す。
小中野・江陽地区 アクティブ 24	<ul style="list-style-type: none"> ○感染予防に努めながら、地域住民が気軽に相談できる場作りと周知、見守り体制の強化を図り、認知症になっても住みなれた地域で生活できるよう支援する。
柏崎・吹上地区 八戸市医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ぐるみで行う見守り体制を、地域関係者と協働で構築する。
是川・中居林地区 修光園	<ul style="list-style-type: none"> ○地域にある関連機関や地域住民との関係構築をすすめ、連携体制を整えていく。 ○介護予防教室の開催場所を増やし地域住民へ予防知識の普及・啓発活動を行っていく。

<p>大館・東地区 福寿草</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生活困難高齢者の早期発見や状況確認の体制構築。困難・虐待ケースの定期的なモニタリングを実施し支援の方向性を確認する。 ○町内会単位の介護予防教室の定着を図るため、地区社協や町内会、民生委員などと協力し、参加者ニーズに沿った介護予防教室を開催していく。 ○3町内（妙、桜ヶ丘4丁目、旭ヶ丘1丁目南）を中心に高齢者見守りネットワーク構築に向けて働きかけや支援を行い、1件以上の新規立ち上げを目指していく。
<p>白銀・湊地区 えがお</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○より地域住民の状況を把握できるようにするため、高齢者実態把握事業については台帳と照合しながら効率的（年齢、世帯構成、過去の訪問実績等）に実施できるよう計画する。 ○見守りネットワークの構築については、昨年度より2つのモデル地区の集いの場作りを発展させつつ他の地区に展開できるように民生委員、町内会役員さんへアプローチしていく。 ○認知症サポーターのネットワークづくりのため、認知症サポーター養成講座のほかに、地域内のキャラバン・メイト、グループホーム等と連携・協力し、集いの場にも積極的に参加できる環境をつくり、継続して認知症の方に関われる機会をつくる。
<p>白銀南・鮫・南浜地区 瑞光園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員や町内会等に見守り活動の必要性を周知や協力依頼する事で、新規での見守りネットワークを2ヶ所立ち上げる。 ○虐待・困難事例等に対して積極的に原則対応を行なう事を継続し、地域や関係機関とのネットワーク強化に努める。 ○認知症地域支援推進員を3名に増やす事でサロンや介護予防相談活動を充実させる。 ○介護予防・感染予防の両輪の視点で地域ケア会議開催を行ない地域課題の抽出やネットワーク作りにつなげる。
<p>南郷地区 ゆとり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の関係者と連携を図り、見守りネットワーク協議体を立ち上げる。 ○介護予防の意識を高める為、予防教室が開催されていない地域に出向き実施する。